

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|--|-----------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| <input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。 | ホーム独自の理念を作成している | | |
| <input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 | 入社時やミーティング時等で、説明し理解を深め日々実践出来るよう取り組んでいる | | |
| <input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。 | 地域の方を交えた運営推進会議や家族への便り、家族来所の際に理解してもらえるよう取り組んでいる | | |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| <input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。 | 地域の行事等でホームに来ていただいたり、散歩や買い物の際には挨拶等を積極的に行い顔見知りの関係を築いていくよう努めている | | |
| <input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。 | 徐々にではあるが地域の行事に参加することが増えてはきているが、今後においてはさらに参加していくようにしたいと考えています | | |
| <input type="checkbox"/> 事業者の力を活かした地域貢献 6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | 現在は特に取り組んではいません | ○ | 運営推進会議等で地域のなかでホームとしてできることを相談し、地域の皆さんに支援できるようにしたいと思います |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|--|-----------------------|--------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。 | 自己評価・外部評価を行うことにより、より客観的にケアを見直す機会ができ、それを基に施設全体で更により良いケアを行える取り組みを行っている | | |
| 8 ○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進会議により議題等になった事項について、会議や連絡等により報告し話し合いをしてサービスの向上につとめている | | |
| 9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。 | 市役所(支所)の担当者とは密に連絡をとりあい緊密な関係を築いている。また、行き来する機会を多分にとり助言等も含めサービスの向上につとめている | | |
| 10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。 | 現在の所、実際に活用したことはないが、定期的に行われる研修会等に参加し、権利擁護や成年後見制度について理解を深めている。 | | |
| 11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。 | 会議などで定期的に虐待について説明し理解をしてもらい、決してあってはならないことを注意している。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 契約時には契約書・重要事項説明書について十分に説明し理解を得いただき、極力施設内の見学も行った上で契約していただいている | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|----|---|---|------------------------|--|
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 常に利用者に耳をかたむけ、苦情や不満についてなんでも言える環境を作っていて、ケアの方針等の参考にしている | | |
| 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。 | 月に一度、ご家族にお知らせをしている。その他にも、なにかある度にご家族と連絡を密に取り合っている | | |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 面会時に意見・不満・苦情等がないかお伺いし、あった場合には速やかに管理者及び施設長に報告し対応をはかるようにしている。また、苦情相談担当者を配置しつつも苦情等を出してもらえる体制をとっている | | |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 職員の不満や苦情を出来る限り聞くようコミュニケーションはとっているが、すべてを把握しているとは思えない | ○ | 個別に面談を行う機会をつくり、今後は職員の声に今以上に耳を傾けていくようつとめる |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。 | その都度、必要に応じて対応している | | |
| 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | 基本的には職員はユニット単位で固定しているが、他のユニットの利用者とも出来る限り馴染みの関係を築けるようにしている | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|--|--------------------|--------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 定期的に会議等に学習会を開催したり、個々の段階をみて研修会に参加させるなどしている。また、研修会に参加後に報告会を開催し他の職員等のレベルアップを行っている | | |
| 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。 | グループホーム協議会の中で交流をはかり、さらにその中で地域的に近隣のグループホームでの定期的な研修会等を行い、お互いの質の向上につとめている | | |
| 21 | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。 | 希望に沿った休日を与えられるように努め、職員のストレスなどを把握できるようコミュニケーションをとり出来る限り、把握するようつとめている | | |
| 22 | ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。 | 資格取得や個々のスキルに合った研修等を紹介している | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。 | 十分な時間をかけて本人と話し、出来る限り信頼関係を築くようにしている | | |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。 | 初期の段階から御家族と十分な時間をとり話を聞き、不安な事や困った事をホームとしてどう対応できるかを理解していただいている | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|---|-----------------------|--------------------------------|
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 本人・御家族と十分話し合い、必要な支援を見極めて提供できるよう努力している | | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 入居前に御家族や本人に施設を見学してもらい、環境や雰囲気等を理解していただき不安などが無いようにしてから入居していただいている | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。 | スタッフは、共に暮らしているという気持ちを持ち何でも話せる間柄になるよう努めている | | |
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。 | 御家族を訪問したり、面会時などに利用者の生活状況や身体の変化を伝え日々の変化を常に共有している | | |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。 | 面会時には自室でゆっくり話をしていただいたりお茶を飲んでいただくなどして、楽しい時間をすごしていただくようにしている | | |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 御家族や本人から話を聞いて、出来る限り途切れることのないようにつとめている | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|---|-----------------------|-------------------------------|
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。 | 利用者同士が楽しく過ごせるように時間や場所に配慮し、職員が話題を提供したりして孤立しないよう努めている | | |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | 基本的には退所後も関わりを必要とする御家族はいらっしゃるらないので実施はしていませんが、今後必要な方がいらっしゃる場合には実施していく | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日常生活の中で、利用者の会話や行動等で職員が把握するよう努めている。また、職員から利用者に話しかけたりして希望や意向を把握するようにしている。意志疎通が困難な利用者の方に対しては御家族から話を聞いて本人本位の対応をするよう心がけている | | |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 御家族から事前に話を聞き、本人からも生活歴を聞いたりして把握するようにつとめている | | |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努めている。 | 日常生活を観察しながら理解するよう心がけている。また、申し送りやミーティングを通して職員全体で利用者一人一人の現状を総合的に把握するよう努めている | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | カンファレンスでの話し合いや御家族に話を聞くなどして努めている | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|--|-----------------------|--------------------------------|
| 37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 状況に変化が生じた場合は、その都度ミーティング等をおこないプランの変更を行うようにしている | | |
| 38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 個別に水分・食事量・排泄状況・バイタル等をチェックシートに記入し、言動や行動などを介護記録に記入し職員全体で情報を共有し実践に活かしている | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。 | 柔軟な対応ができるよう心がけている | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 ○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。 | 運営推進会議などで意見交換をしたり、避難訓練時は消防の協力を得ている。また、ボランティア団体の協議会に参加し、意見の交換や助言をいただき協力を得ている。 | | |
| 41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。 | 地域の行事には積極的に参加している。また、利用者の希望により訪問理容や地域の美容院を利用したりしている。 | | |
| 42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。 | 運営推進会議に毎回参加していただき、支援の情報交換やサービス内容などの助言をいただき協力を得ている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-----------------------|--|
| 43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 日々の健康をチェックし、適切に医療を受けられるよう支援している。 | ○ | 利用者の希望や必要に応じ、かかりつけ医以外の医療機関にも受診を行っている |
| 44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。 | 気軽に相談できるかかりつけ医がおり、助言やアドバイスをいただいている。 | | |
| 45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 現在看護職の確保していないが、近隣の看護職とは常に相談できる関係を築いており日常の健康管理や医療の支援をおこなっている。 | | |
| 46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。 | 入院時には病院に情報を提供し、医師や御家族と緊密に連絡を取り早期に退院できるように努めている。 | | |
| 47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。 | 重度化、終末期にむけての話し合いは御家族等とはしているが、医療連携体制も含め具体的な方針はまだできていない。 | ○ | 利用者も高齢化しており、少しずつではあるが身体機能も低下してきているので、これからは御家族やかかりつけ医と話す機会をもっと作っていききたい。 |
| 48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。 | 現在は、その都度体調の変化に伴ってかかりつけ医、御家族と検討している。 | ○ | 終末期に向け、利用者や御家族が安心できるようかかりつけ医も含めて話し合いをしていきたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|-----------------------|-------------------------------|
| <p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p> | 十分な話し合いや、情報交換をおこなっている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p> | プライバシーを損なうことのないよう、言葉掛けや記録等には十分配慮している。 | | |
| <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> | 常に複数の選択肢を提案し利用者に自己決定していただく場面を作っている。 | | |
| <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> | 基本的な流れはあるが、利用者の個々の状況に応じた対応をしている。 | | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p> | 出来る方にはご自分で服装を選んでいただくようにしている。また、その人に合ったおしゃれが出来るよう支援している。 | | |
| <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p> | 出来る限り利用者と共に食事作りや後かたづけをしている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|--|--|-----------------------|--------------------------------|
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | 現在、喫煙する方はいらっしゃいませんがお酒やお菓子等については健康上問題がない限り提供している。 | | |
| 56 | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 排尿・排泄チェック表を作成し、利用者のパターンを把握する様にし、時間を見計りながらのトイレ誘導をおこない、出来る限りトイレでの排泄ができるよう支援をおこなっている。 | | |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | 利用者本人の希望により入浴をおこなっているが、安全性の確保などを考慮し日勤帯で入浴していただいている。 | | |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | 出来る限り利用者個人の生活習慣、状況に応じ支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 個々の利用者に合わせて出来る範囲でのことをお願いしてやっていただけるよう促したり手伝っていただいている。 | | |
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 御家族と利用者の希望により、必要なお金を手渡して外出時に使えるようにしている。 | | |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。 | 天気の良い日は外に散歩に出るよう声掛けをおこなったり、歩くことが困難な方にはひなたぼっこをするなどしている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|---|-----------------------|--------------------------------|
| 62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。 | 利用者が行きたい場所を聞き、出来る限り実現できるよう職員間で検討して応えられるようつとめている。 | | |
| 63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 利用者の希望にそって支援している。 | | |
| 64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | 面会時間等はおうけておらず、自由に訪問していただく環境にしている。また、訪問された場合はお茶などをお出ししてつろいでもらおうとつとめている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | |
| 65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 職員は定期的に会議等で話をし理解をふかめ、身体拘束のないケアに取り組んでいる。 | | |
| 66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | 防犯上、夜間には玄関の鍵をかけているが、通常は鍵をかけることは行っていない。また、今後においても鍵をかけないケアに取り組んでいく。 | | |
| 67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。 | 日中は職員がホール内を見守りをし、居室で過ごす時間が多い利用者の方は定期的に訪室し様子を把握するようにしている。また、夜間帯は定時巡回を行うと共に利用者の体調に合わせ見守りをおこなっている。 | | |
| 68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。 | 誤飲や誤食の恐れのある物は手の届かない所へ保管している。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|--|-----------------------|--|
| 69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。 | 利用者一人一人の状態を把握しどのような危険性があるか毎日の申し送りで職員全員が危険を回避できるよう話し合っている。 | | |
| 70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。 | 緊急時の対応マニュアルを作成し緊急時にそなえている。 | ○ | 消防主催の救命講習等を更に実施していく。 |
| 71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 年2回の避難訓練を消防協力の下おこなっている。また、運営推進会議において地元消防団の協力も得ている。 | | |
| 72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。 | 御家族には訪問時などに日頃の生活状況等を説明し、現在や今後起こりうるリスクについて説明をしている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。 | 毎日、利用者一人一人の体長変化に気をつけ、少しの変化でも有った場合は申し送り等で職員全員が共有できるようにしている。 | ○ | 毎日のバイタルチェック、排泄状況、水分摂取量、食事量、入浴更衣時の身体の状況確認などをおこない異常があるときは申し送りや会議等で情報を共有している。 |
| 74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 処方時に内服薬の内容や特変事項を確認し、申し送りなどで理解している。 | | |
| 75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。 | 運動、水分摂取、食事内容などで便秘予防につとめている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|---|---|-----------------------|--------------------------------|
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。 | 食後の口腔ケアの実施、義歯の洗浄をおこなっている。 | | |
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 食事量や水分摂取量を記録表に記入し利用者の状態を把握している。また、きざみ食やお粥など個々の状態に合わせた調理方法で提供している。 | | |
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 対応マニュアルを作成している。また、手洗いやうがいの励行、インフルエンザ予防接種を実施している。 | | |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。 | 毎日、使用した調理器具の漂白をおこなっている。また、食材の賞味期限など必ずチェックして使用している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。 | 玄関前にプランターを置いたり野菜を植えたりしている。また、玄関内には植木や花などを置き親しみやすい環境を作っている。 | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 共用スペースには写真や利用者が作った飾り物などを展示したりしている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|---|-----------------------|--------------------------------|
| 82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 廊下にイスを置いたり、談話コーナーにソファを置いて利用者が好きな場所で過ごすことができる。 | | |
| 83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いたいのや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 入居時に御家族や利用者本人に居室に置きたい物を聞き、できるだけ馴染みのある物を置いていただくように話している。 | | |
| 84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。 | 日々、利用者と話をして温度調節をおこなっている。また、換気については職員が常に注意し必要なときに行っている。 | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| 85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 廊下、トイレ、浴室等に手摺をつけて、できるだけ自立でき更に安全に配慮している。 | | |
| 86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。 | 部屋の入口に目印をつけたり、利用者個人の茶碗やコップなどを使用している。 | | |
| 87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。 | 玄関脇に花壇や野菜畑があり、畑作業や水やりをたのしんでいる。 | | |

| V. サービスの成果に関する項目 | | |
|------------------|---|---|
| 項目 | 取り組みの成果 | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | <input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | <input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | <input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている | <input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | <input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | <input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている | <input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく | <input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ②家族の2/3くらい <input type="radio"/> ③家族の1/3くらい <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |

| V. サービスの成果に関する項目 | |
|------------------|---|
| 項目 | 取り組みの成果 |
| 97 | <p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> |
| 98 | <p>職員は、生き生きと働けている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> |
| 99 | <p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> |
| 100 | <p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

入居者の方々が、いつもにこやかにそして健康でいられるような場所にするために、職員も笑顔を絶やすことなく一緒に生活できるよう努めています。